

日本社会人団体馬術連盟

第 32 回
全日本社会人馬術選手権大会
スプリング

第 2 回
JBG チャレンジカップ

プログラム

とき：平成 25 年 6 月 8 日(土) ～ 6 月 9 日(日)

ところ：馬術苑 中島トニアシュタール

主 催：日本社会人団体馬術連盟

協 賛：レッキス工業株式会社 日本農産工業株式会社

日本中央競馬会 助成事業

大会役員

大会会長 菅原 俊之
大会副会長 今井 雄一
大会顧問 斎藤 十朗 宮川 恭一
田所 忠夫 樋口 正明 駒井 雅夫 新垣 恒則 丹澤 太良
参 与 内田 忠 盛谷 通哉 平井 雅郎 袋 敏洋 合田 功
松元 庸子 小島 久昌

大会委員長 高橋 宗和
大会副委員長 森下 力
審判長 高桑 浩彰
審判員 大町 孝浩 大鳥井 浩一 野川 拓三
救護医師 岩井 信市
コースデザイナー 大町 孝浩
スチュワード 高橋 宗和 森下 力
競技委員長 孕石 智司
競技副委員長 児玉 彰 山岸 広史
競技委員 森下 力 早田 恭彦 若松 麻里 金子 春起 小林 達也
鈴木 貴晴 龍 家圭 飯田 真理恵 大場 康史
総務委員長 能勢 満司
記 録 山崎 幹子 石津 智広 小林 達也
放 送 関 美雪
賞 典 山岸 広史 能勢 満司
広 報 早田 恭彦
会 計 能勢 満司

馬匹提供団体 馬術苑 中島トニアシュタール 壬生乗馬クラブ
フジホースライディングクラブ
運 営 協 力 馬術苑 中島トニアシュタール 茨城大学乗馬同好会

第 32 回 全日本社会人馬術選手権大会 スプリング
第 2 回 JBG チャレンジカップ
スケジュール

2013 年 6 月 8 日(土) ドレスサージュ

9:00	役員集合、役員打合せ
9:15	クラブ打合せ
9:30	選手集合 (正装)、打ち合わせ、抽選、 スプリング 馬装 (出場選手全員)
10:15	スプリング 午前 準備運動開始
10:30	スプリング 午前 選手準備運動開始
引き続き	スプリング 午前 競技開始 (1 面進行,14 鞍)
12:10	スプリング 午前 馬匹手入れ (出場選手全員)、昼食
13:10	スプリング 午後 馬装開始
13:40	スプリング 午後 準備運動開始
13:55	スプリング 午後 選手準備運動開始
引き続き	スプリング 午後 競技開始 (1 面進行, 14 鞍)
終了後	スプリング 午後 馬匹手入れ
15:25	チャレンジカップ 馬装・準備運動
15:40	チャレンジカップ 競技開始 (1 面進行, 5 鞍)
16:10	障害仮設営
16:10	チャレンジカップ 馬匹手入れ
16:30	表彰式 (正装)、終了後解散

※ 当日の進行により、前倒し等、変更する場合があります。

※ 選手集合では、スプリング・チャレンジカップへ出場の両選手皆様がお集まりください

※ スプリング選手の方はチャレンジカップの運営を、チャレンジカップ選手の方はスプリングの運営をご協力ください。担当等は当日の打ち合わせ時にご案内いたします。

第 32 回 全日本社会人馬術選手権大会 スプリング
第 2 回 JBG チャレンジカップ
スケジュール

2013 年 6 月 9 日(日) ジャンピング

9:00	役員集合、役員打合せ、障害設営 (～9:15)
9:15	選手下見開始 (正装、～9:30)
9:30	クラブ打合せ
9:45	選手集合 (正装)、打ち合わせ、抽選、
10:00	スプリング 午前 馬装 (出場選手全員)
10:30	スプリング 午前 試走
10:45	スプリング 午前 競技開始 (18 走行)
11:15	スプリング 午前 馬匹手入れ (出場選手全員)、昼食
12:30	スプリング 午後 馬装 (出場選手全員)
13:00	スプリング 午後 試走
13:15	スプリング 午後 競技開始 (18 走行)
13:45	スプリング 午後 馬匹手入れ(出場選手全員)
13:45	チャレンジカップ 障害組み換え・下見
14:15	チャレンジカップ 馬装
14:30	チャレンジカップ 試走
14:35	チャレンジカップ 競技開始 (2 走行)
14:45	チャレンジカップ馬匹手入れ
14:45	退厩作業
14:45	障害撤収
15:15	表彰式 (正装)、終了後解散

※ 当日の進行により、前倒し等、変更する場合があります。

※ 選手集合では、スプリング・チャレンジカップへ出場の両選手皆様がお集まりください

※ スプリング選手の方はチャレンジカップの運営を、チャレンジカップ選手の方はスプリングの運営をご協力ください。担当等は当日の打ち合わせ時にご案内いたします。

第 32 回 全日本社会人馬術選手権大会シリーズ ドレスサージュ 実施要綱

1. 開催日及び開催地

全日本社会人馬術選手権大会 スプリング ドレスサージュ

開催日：平成 25 年 6 月 8 日(土)

開催地：馬術苑 中島トニアシュタール

茨城県東茨城郡茨城町大戸 738 TEL 029-292-6753

全日本社会人馬術選手権大会 オータム ドレスサージュ

開催日：平成 25 年 11 月 9 日(土)

開催地：(財) 山梨県馬事振興センター 山梨県馬術競技場

山梨県北杜市小淵沢町 10060-3 TEL 0551-36-3945

全日本社会人馬術選手権大会 ファイナル ドレスサージュ

開催日：平成 26 年 3 月 22 日(土)~23 日(日)(予定)

開催地：JRA 馬事公苑 (予定)

東京都世田谷区上用賀 2-1-1 TEL 03-3429-5101

2. 出場資格

- (1) 日本社会人団体馬術連盟の会員団体及び準会員団体に所属する者
- (2) 日本社会人団体連盟馬術技能資格 A 及び B、B'の当該年度資格登録者

3. 全日本社会人馬術選手権大会 スプリング・オータムについて

(1) エントリー

エントリーに空きがある場合、スプリングおよびオータムの両大会へエントリーできる。ただし、スプリングにおいてファイナル出場権を獲得した場合、オータムにおいてファイナル出場権を得ることはできない。この場合、(6)における繰り上げに従って出場権を付与する。

(2) 競技種目

日本馬術連盟制定 馬場馬術運動課目 第 3 課目 2009B

(3) 乗馬

日本社会人団体馬術連盟が用意する貸与馬による。

(4) 競技方法

- 競技規定は、国際馬術連盟馬場馬術競技会規程第 24 版及び日本馬術連盟競技会規程 第 25 版を採用する。
 - 参考：日本馬術連盟「馬場馬術競技会における保護用ヘッドギアの着用義務付けについて」
<http://www.equitation-japan.com/index.php?menuindex=posts&cat=33&pg=1&pno=5221#5221>
- 使用予定馬が故障などにより使用不能となった場合、競技前・途中の如何を問わず、予備馬による再演技を行なう。
- 選手を 1 ブロック 3~4 名からなるブロック A~H に分け各ブロック毎に与えられた馬 2 頭に騎乗し、その 2 鞍の得点合計により順位を決定する。ブロックの数はエントリーの数により変動し、最大 8 ブロックとする。
- スプリング及びオータムの各大会の表彰はブロックに関係なく総合順位で行う。

(5) 順位の決定

- ① 総得点と同じ場合は全審査員の総合観察得点合計の高い者を上位とする。
- ② ①で決まらない場合は審査員 C の総合観察得点合計の高い者を上位とする。
- ③ ②で決まらない場合は 1 鞍の最も高い得点の者を上位とする。
- ④ ③で決まらない場合は抽選とする。

(6) 全日本社会人馬術選手権大会 ファイナル 出場権

各ブロックの上位 1 名が全日本社会人馬術選手権大会 ファイナルへの出場権を得る。ブロック数が 8 ブロックに満たない場合、総合順位の上位の選手から順に出場権を割り当て、スプリング・オータム共に 8 名の選手が出場権を得るものとする。

ブロック 1 位の選手が欠場となった場合、同一ブロック 2 位の選手を繰り上げる。同一ブロック 2 位の選手も欠場の場合、それ以上の繰上げは行わず、総合順位の上位者を充てる。

4. 全日本社会人馬術選手権大会 ファイナルについて

(1) 出場人数および資格

- スプリング及びオータム各ブロック上位選手 16 名

(2) 競技種目

1 回戦: 日本馬術連盟制定 馬場馬術運動課目 L1 課目 2013

決 勝: 日本馬術連盟制定 馬場馬術運動課目 L2 課目 2013

(3) 乗馬

日本社会人団体馬術連盟が用意する貸与馬。

(4) シード権の獲得

ファイナル優勝者および準優勝者は、次年度に開催される第 33 回 全日本社会人馬術選手権大会シリーズのシード権を得る(優勝者: スプリング シード権、準優勝者: オータム シード権)。シード権を得た選手は、同シリーズの開催通知後、エントリー締切までにシード権の行使を宣言することで、シード選手となる。シード権の行使を宣言しない場合、一般の選手と同様に同シリーズにエントリーすることができる。シード権獲得選手がシード権を行使しない場合のシード権の繰り上げなどは行わない。

(5) 団体戦(団体表彰)

2 名以上の選手が出場する正会員団体が 3 団体以上ある場合、それらの団体について団体表彰を行う。団体順位は、各団体の 1 回戦の成績上位 2 名の成績によって決定する。

(6) その他

詳細については別途通知する。

5. その他

- (1) 参加者・馬取扱者・観覧者の事故疾病について、主催者は応急処置をするが、その責は負わない。また何らかの傷害保険に加入していること。
- (2) 出場選手の技術の向上、事故防止に心がけること。危険防止の観点から、主催者及び審判団の協議に基づき改善を指導する場合がある。
- (3) 拍車は、丸拍又は棒拍とし、審判長の指示により着用を認めない場合がある。
- (4) 出場者数及び馬匹その他の理由により、やむを得ず要綱及び日程等の一部を変更して実施する場合がある(競技の詳細などについては、当日の打合わせにおいて説明する)。

第 32 回 全日本社会人馬術選手権大会シリーズ ジャンピング 実施要綱

1. 開催日及び開催地

全日本社会人馬術選手権大会 スプリング ジャンピング

開催日：平成 25 年 6 月 9 日(日)

開催地：馬術苑 中島トニアシュタール

茨城県東茨城郡茨城町大戸 738 TEL 029-292-6753

全日本社会人馬術選手権大会 オータム ジャンピング

開催日：平成 25 年 11 月 10 日(日)

開催地：(財) 山梨県馬事振興センター 山梨県馬術競技場

山梨県北杜市小淵沢町 10060-3 TEL 0551-36-3945

全日本社会人馬術選手権大会 ファイナル ジャンピング

開催日：平成 26 年 3 月 22 日(土)~23 日(日)(予定)

開催地：JRA 馬事公苑 (予定)

東京都世田谷区上用賀 2-1-1 TEL 03-3429-5101

2. 出場資格

- (1) 日本社会人団体馬術連盟の会員団体及び準会員団体に所属する者
- (2) 日本社会人団体連盟馬術技能資格 A 及び B の当該年度資格登録者

3. 全日本社会人馬術選手権大会 スプリング・オータムについて

(1) エントリー

エントリーに空きがある場合、スプリングおよびオータムの両大会へエントリーできる。ただし、スプリングにおいてファイナル出場権を獲得した場合、オータムにおいてファイナル出場権を得ることはできない。この場合、(6)における繰り上げに従って出場権を付与する。

(2) 競技種目

障害飛越競技 (高さ 100cm まで)

(3) 乗馬

日本社会人団体馬術連盟が用意する貸与馬による。

(4) 競技方法

- 競技規定は、国際馬術連盟障害飛越競技会規程 第 24 版及び日本馬術連盟競技会規程 第 25 年度版、国民体育大会馬術競技規程(第 68 回)(失権者の減点算法)を採用する。2 反抗失権、基準タイムおよび早着減点の設定など一部ローカルルールを採用する。
- 使用予定馬が故障などにより使用不能となった場合、競技前・途中の如何を問わず、予備馬による再走行を行なう。
- 選手を 3~4 名からなるブロックに分け、ブロック毎に与えられた馬 2 頭に騎乗し、その 2 鞍の合計得点により順位を決定する。ブロックの数はエントリーの数により変動し、最大 8 ブロックとする。
- スプリング及びオータムの各大会の表彰はブロックに関係なく総合順位で行う。

(5) 順位の決定

- ① 減点合計が少ない者を上位とする。

- ② 減点合計が同点の場合は、各走行タイムの基準タイムとの差の絶対値合計の少ない者を上位とする。
- ③ ①②で決まらない場合は、減点 0 の多い者を上位とする。
- ④ 以上で決まらない場合は、抽選とする。

(6) 全日本社会人馬術選手権大会 ファイナル 出場権

各ブロックの上位 1 名が全日本社会人馬術選手権大会 ファイナルへの出場権を得る。ブロック数が 8 ブロックに満たない場合、総合順位の上位の選手から順に出場権を割り当て、スプリング・オータム共に 8 名の選手が出場権を得るものとする。

ブロック 1 位の選手が欠場となった場合、同一ブロック 2 位の選手を繰り上げる。同一ブロック 2 位の選手も欠場の場合、それ以上の繰上げは行わず、総合順位の上位者を充てる。

4. 全日本社会人馬術選手権大会 ファイナルについて

(1) 出場人数

スプリング、オータム各ブロック上位選手 16 名

(2) 競技種目

障害飛越競技 (高さ 110cm まで)

(3) 乗馬

日本社会人団体馬術連盟が用意する貸与馬。

(4) シード権の獲得

ファイナル優勝者および準優勝者は、次年度に開催される第 33 回 全日本社会人馬術選手権大会シリーズのシード権を得る(優勝者: スプリング シード権、準優勝者: オータム シード権)。シード権を得た選手は、同シリーズの開催通知後、エントリー締切までにシード権の行使を宣言することで、シード選手となる。シード権の行使を宣言しない場合、一般の選手と同様に同シリーズにエントリーすることができる。シード権獲得選手がシード権を行使しない場合のシード権の繰り上げなどは行わない。

(5) その他

詳細については別途通知する。

5. その他

- (1) 参加者・馬取扱者・観覧者の事故疾病について、主催者は応急処置をするが、その責は負わない。また何らかの傷害保険に加入していること。
- (2) 出場選手の技術の向上、事故防止に心がけること。危険防止の観点から、主催者及び審判団の協議に基づき改善を指導する場合がある。
- (3) 拍車は、丸拍又は棒拍とし、審判長の指示により着用を認めない場合がある。
- (4) 出場者数及び馬匹その他の理由により、やむを得ず要綱及び日程等の一部を変更して実施する場合がある(競技の詳細などについては、当日の打合わせにおいて説明する)。
- (5) 準備運動場における飛越回数オーバーは失権、逆標旗飛越はその都度罰金 3 万円を課す。

第2回 JBG チャレンジカップ 実施要綱

1. 出場資格

- (1) 大会開催時点で、本連盟の会員資格を持ち、以下の騎乗者資格を有すること。
 - 馬場馬術競技 A: 日本社会人団体馬術連盟 騎乗者資格 B グレード、B'グレード
 - 馬場馬術競技 B: 日本社会人団体馬術連盟 騎乗者資格 C グレード
 - 障害馬術競技 A: 日本社会人団体馬術連盟 騎乗者資格 B グレード、B'グレード
 - 障害馬術競技 B: 日本社会人団体馬術連盟 騎乗者資格 B'グレード、C グレード
- (2) 過去に全日本社会人馬術選手権大会や全日本実業団障害馬術大会、およびそれに相当する大会に出場経験がないこと、又は相当する経験が浅いこと。
- (3) 将来、全日本社会人馬術選手権大会や全日本実業団障害馬術大会に出場する目標を持つこと。
- (4) 馬場馬術競技においては日本馬術連盟制定 馬場馬術運動課目 A2 課目 2013 程度、障害馬術競技 A においては小障害馬術競技 80cm 程度、障害馬術競技 B においては小障害馬術競技 60cm 程度の騎乗技能を有すること。
- (5) 障害馬術競技 A と障害馬術競技 B の両方にエントリーすることはできない。
- (6) 基本的な馬匹の馬装と手入れができること。
- (7) 何らかの障害保険に加入していること。

2. 競技方法

(1) 馬場馬術競技 A、馬場馬術競技 B

(ア) 競技方法

競技規定は、国際馬術連盟馬場馬術競技会規程第 24 版及び日本馬術連盟競技会規程平成 25 年度版を採用する。

1. 馬匹は抽選によって決定し、各選手はその馬匹に騎乗して演技を行い、その成績によって勝敗を決する。
2. 演技は、日本馬術連盟制定 馬場馬術運動課目 A2 課目 2013 を行う。

(イ) 順位の決定

1. 得点率の高い方を上位とする。
2. 得点率が同じ場合は全審判員の総合観察点の得点の高い方を上位とする。
3. 2 で決まらない場合は C 点審判員の総合観察の得点の高い者を上位とする。
4. 3 で決まらない場合は抽選とする。

(2) 障害馬術競技 A、障害馬術競技 B

(ア) 競技方法

競技規定は、国際馬術連盟障害飛越競技会規程第 24 版及び日本馬術連盟競技会規程平成 25 年度版を採用する。3 反抗失権、基準タイムの設定など一部ローカルルールを採用する。

1. 馬匹は抽選によって決定し、各選手はその馬匹に騎乗してコースを走行し、その成績によって勝敗を決する。
2. 障害馬術競技 A: コースは、最大 8 個からなる高さ 80cm まで幅 100cm までの単一またはダブルの垂直またはオクサー障害で構成される。
3. 障害馬術競技 B: コースは、最大 8 個からなる高さ 60cm までの単一のクロスバーまたは

垂直障害で構成される。

(イ) 順位の決定方法

1. 減点の少ない者を上位とする。
2. 減点と同点の場合は、走行タイムの基準タイムとの差の絶対値の少ない者を上位とする。

3. 表彰

- (1) 馬場馬術競技 A、馬場馬術競技 B、障害馬術競技 A、障害馬術競技 B、それぞれ、上位 3 名を表彰する。

4. 服装

- (1) 正装(白またはベージュのキュロット、ジャケット、革長靴)が望ましいが、それに準じた服装も可とする。
- (2) 障害馬術競技においては、騎乗する際には必ず 3 点で固定された顎紐のついた防護帽を着用して顎紐をしっかりと締めること、ボディプロテクタを着用することを義務とする。連盟よりボディプロテクタの貸し出しを行うので、希望する選手は当日、申し出ること。
- (3) 馬場馬術競技においても、障害馬術競技と同様に騎乗する際には必ず 3 点で固定された顎紐のついた防護帽を着用して顎紐をしっかりと締めること。

5. その他

- (1) 参加者・馬取扱者・観覧者の事故疾病について、主催者は応急処置をするが、その責は負わない。
- (2) 出場者数及び馬匹、その他の理由により、やむを得ず要綱及び日程等の一部を変更して実施する場合もある。競技の詳細等については、当日の打ち合わせにおいて説明するので、注意すること。
- (3) 馬場馬術競技においては、準備運動は 4 分以内とする。
- (4) 障害馬術競技においては、準備運動は 3 分 2 飛越以内とする。クロス障害の飛越は回数に含めない。
- (5) 障害馬術競技において、選手の準備運動場における飛越回数オーバーは失権、逆標旗飛越についてはその都度罰金 3 万円を課す。
- (6) 拍車は 2.5cm 以内の丸拍又は棒拍とする。馬匹提供団体および審判長の指示に従うこと。

第 32 回 全日本社会人馬術選手権大会
 スプリング ドレスージュ 出場選手

No.	選手名	所属
1	鈴木 貴晴	NTT 馬術部
2	金子 春起	皇宮警察馬術部
3	中尾 昌代	財務省乗馬会
4	加来 賢一	衆議院乗馬会
5	山岸 広史	衆議院乗馬会
6	孕石 智司	特別区文化体育会乗馬部
7	久保 知之	日本アイ・ビー・エム(株)馬術部
8	佐伯 圭一	(株)日立国際電気馬術部
9	竹本 有希	(株)日立国際電気馬術部
10	荒川 純一	パナソニック(株)馬術部
11	大島 由美子	パナソニック(株)馬術部
12	角田 真紀	パナソニック(株)馬術部
13	中岡 義晴	住友スリーエム馬術愛好会
14	関 美雪	山田&パートナーズ乗馬同好会

第 32 回 全日本社会人馬術選手権大会
 スプリング ジャンピング 出場選手

No.	選手名	所属
1	伴 茂樹	NTT 馬術部
2	松本 朋隆	NTT 馬術部
3	金子 春起	皇宮警察馬術部
4	佐々木 功	皇宮警察馬術部
5	高原 遼	皇宮警察馬術部
6	中尾 昌代	財務省乗馬会
7	諸岡 真澄	社会人昭和大学ライディングチーム
8	龍 家圭	社会人昭和大学ライディングチーム
9	山岸 広史	衆議院乗馬会
10	菊谷 雅仁	特別区文化体育会乗馬部
11	孕石 智司	特別区文化体育会乗馬部
12	細川 浩志	トッパン・フォームズ馬術部
13	早田 恭彦	日本アイ・ビー・エム(株)馬術部
14	児玉 彰	(株)日立国際電気馬術部
15	佐伯 圭一	(株)日立国際電気馬術部
16	若松 麻里	(株)日立国際電気馬術部
17	鎌田 和明	防衛省乗馬同好会
18	大場 康史	日本農産工業(株)馬術部

第2回 JBG チャレンジカップ 出場選手

馬場馬術競技 (AB 統合)

No.	選手名	所属
1	周郷 裕子	東京都庁体育会乗馬部
2	周郷 裕子	東京都庁体育会乗馬部
3	藤原 泉	茨城県庁乗馬部
4	飯田 真理恵	日本農産工業(株)馬術部
5	茂垣 裕明	日本アイ・ビー・エム(株)馬術部

障害馬術競技 A

No.	選手名	所属
1	竹本 有希	(株)日立国際電気馬術部
2	角田 真紀	パナソニック馬術部

社会人 貸与馬戦の心得

ウィークエンドライダーが中心の社会人にとって、誰が乗るかわからない競技に大切な馬を貸してくださる乗馬クラブや大学は、とてもありがたいものです。また、これらの馬がいなくなれば、我々の競技会は1試合も成り立ちません。皆様が、一戦一戦大切に乘ってくださることで、貸して下さる乗馬クラブや大学との繋がりも広がります。社会人だからこそ、皆様の良識と経験を頼りに競技会を開催しておりますが、以下の点につきまして特に皆様のご理解を頂きたいと思っております。

1. 馬を大切にしてください。
馬は、1回限りの使い捨て自転車ではありません。会ったこともない自分のために、力を尽くして競技してくれるのです。自分の馬と同じように扱い、丁寧に乗りましょう。その場の成績に目がくらんで、行き過ぎた騎乗をしないように気遣いましょう。
2. 貸して下さる団体の方に挨拶を。
参加費を払っていても、馬を借りることには変わりありません。馬にもそうですが、貸して下さる方にも、乗る前の「よろしくお願ひします」乗った後の「ありがとうございました」の一言を忘れずに。競技の結果で挨拶が変わるようでは社会人の名が泣きます。
3. 馬の悪口を言わない。
競技はミズモノです。常に誰かが負け、誰かが勝ちます。原因はあなたかも知れないし、馬かも知れない。単に折り合いが悪いのかも知れないし、運が悪かったのかも知れない。どんな結果でも、次へつながるものへとしたいですね。「勝てば馬のせい、負ければ自分のせい」は全世界共通の馬乗りの基本です。ましてや、借りている馬に対し悪くいうのはもってのほか。品位を疑われてしまいます。
4. 最後まで面倒を見ましょう。
馬装を目の前でしていても前でぼーっと見ていたり、汗だらけの馬をそのまま渡したりせず、競技時間の許す限りは最優先で馬の面倒を見ましょう。どこの、誰の馬でも、その時に自分が乗ったら、手入れまでが自分の責任です。できない場合には、一言、やっただ下さる方に断りましょう。「社会人に貸すと馬ピカピカにして返してくれるんだよね」こんな言葉がいつか聞けるといいですね。

お互いに気持ちよく、楽しく競技をしたい、というのは、共通の願ひだと思っております。社会人競技のこれからの発展のためにも、皆で協力していきましょう。一人一人の小さな行動が、社会人馬術の未来へつながっているのです。ご協力に心より感謝いたします。